助成･寄付寄贈報告

※　公益財団法人　洲崎福祉財団様より　みつばち送迎車　助成
※　計画相談の利用者様より　書籍等の寄贈

皆様に厚く御礼申し上げます

- 掃除機、子ども用自転車の寄付をいただける方を募っております。ご不要の物がありましたらご協力をお願い申し上げます -

研修会･講演会のご案内

◆ **定期研修会「Be サポ事例研究会」**

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第 3 水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津（※変更の際にはご連絡いたします）
参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
今後の予定：9/21, 10/19, 11/16, 12/21,1/17
（コロナの影響で中止・変更の可能性がありますのでご了承ください）
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市・長泉町
市民メンタルヘルス相談　：　伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
看護学校スクールカウンセリング
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業
沼津市　：　東部圏域　居場所「なごみ」（県委託事業）
伊豆市　：　伊豆圏域　居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
----------沼津市----------
保育所等訪問支援　／　児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
----------伊豆市----------
みつばち伊豆　放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」

☘・☘・☘・☘・☘・☘・☘ Be サポート会員募集中 ☘・☘・☘・☘・☘・☘・☘

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 55 名、賛助会員 3 名、学生会員 1 名（2023.9 月 1 日時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2023 年 9 月 15 日発行 Vol.33

NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

- 新型コロナウイルス感染症対策として、Be サポートではすべての事業において「手指および室内の消毒」「常時換気」「マスク着用」「検温」等を実施しております -

『 臨床心理士の学びについて思うこと 』　　Be サポート理事　三須友恵

私が臨床心理士になって、20 年以上が経過しました。自分で記載しながら、その事実に驚いています。これまで、多くの現場や多くの方々に支えられ、今に至っていると感じます。

20 年以上この仕事を続けていても、未だに疑問に思うこと、迷うこと、手探りで対応することに直面する日々です。どのように学んでいったら、臨床家としての自分の技量を向上させ、地域社会で役立つ臨床家になれるのでしょうか。

そういったことを考える時に、私が立ち戻る原点は「臨床」という言葉の意味です。この言葉については各分野によって多少意味が変わることもあると思いますが、私にとっては、目の前にいる人に寄り添い、真摯に向き合うことだと考えています。

「目の前にいる人」は、性別・年齢・育ってきた環境・教育歴・仕事など、当然ですが様々です。そういった様々な特性を持つ「目の前にいる人」と向き合うためには、人の営みに関すること全てが、学びの対象になるのではないかと思っています。一緒に働く多職種の方の視点や意見、法人・施設を運営していくための仕組み、作物を育てる共同作業、子どもとの遊びや子どもの何気ない質問、仕事仲間との何気ない会話、生活していくための知恵等々、挙げればきりがありません。業務に関することでは、初めての業務や講話の資料作成、事例のまとめなども、これを機に学ぼうという姿勢で取り組むことで、得ることも多いように感じます。当然、心理学やその関係領域の知識を学ぶことは大切ですが、人としてのバランス感覚を養うためには、幅広く好奇心を持って学ぶ姿勢が大切なのではないかと思っています。

ということを書きながら、私の臨床の道標と思っている先生の座右の銘「我以外皆我師」という言葉を思い出しました。当時の私は、こんなにすごい先生が他の人から何を学ぶのだろうと不思議だったことも併せて思い出しました。自分の心がけ次第で、学べることが増えることを当時から伝えて下さっていたのだと、今更感じ入ってしまいました。

これからも臨床家として、少しでも社会貢献できるように、学ぶことを楽みながら継続していきたいと思います。その学びの一環として、2023 年に開催される第 3 回公認心理師学術集会静岡大会に、法人では 4 件の発表内容を応募しようと思っています。それらをまとめながら、また自分を振り返り、学ぶ機会にしていきたいと思っています。

【　「みかん」さんの夏休み より　】

みつばち沼津に　新しい送迎車がきました !!

このたび、「公益財団法人　洲崎福祉財団」様から助成金をいただくことができ、7 月から、みつばち沼津の送迎車に中古のノアが加わりました。この車は 7 人乗りのワンボックスで、子どもの送迎はもちろん、夏休みには野外活動の送迎に大活躍しました。

これまでの送迎車の老朽化に伴い、昨年度からいろいろな団体に助成金申請を出すもなかなか選考されず、頭を悩ませていたところでしたので、申請が通った一報をいただいた時には電話口で「ありがとうございます～!!」と大声で喜んでしまいました。

今後も、子どもたちの安心安全を第一に、これまで以上の質の高い療育支援を提供できるよう、スタッフ一同頑張ってまいります。

活　動　報　告

みつばち沼津 児童発達支援「あんず」

あんずの夏の活動は、晴れていれば毎日プールで元気に遊びました。水風船、水鉄砲、おもちゃのスコップ、プリンのカップなど使って水に慣れ親しんでとても楽しそうな子どもたちでした。頭や体を自分で拭く練習やお着換えの練習やお洋服を畳んで片付ける練習も頑張りました。

みつばち農園ではゴーヤ、茄子、ピーマン、プチトマトが実りました。今年もたくさん実り、子どもたちと一緒に収穫が出来ました。収穫の後調理して美味しく頂きました。夏のしりとり歌という楽しいしりとり歌をみんなで歌いました。気に入って歌の時間以外でも鼻歌で歌いだすお子さんも何人もいました。

夏の制作として透明な空き容器を使って「海のいきもの」を自由制作しました。慣れてくると制作の時間が楽しみになって、クラゲ、さかな、カニ、エビ、船、ダイオウグソクムシ、アンコウ、海を走る電車、など想像力があふれていました。透明な容器が涼し気で、夏にぴったりの作品がたくさん出来ました。

みつばち沼津 放課後等デイサービス「かりん」

新型コロナが 5 類感染症に移行して初の夏休み。感染には気を付けながらも、今年はコロナ禍真っ只中では我慢せざるを得なかった活動を再開し、新規に実施したりしました。

まず再開したことは、夏祭りの食事の提供です。今年は久々にフランクフルトや焼き鳥を炭火で焼いて、子どもたちみんなで食べました。しばらく倉庫に眠っていた炭を使ったこともあり、火起こしに苦労させられましたが、おいしい、おいしいとフランクフルトを 5 本も（！）食べた子を見ていると、暑い中頑張ったことが報われる思いがしました。みんなでワイワイ食べられたことも、よい調味料になったのではと思います。

次に、今年新しく実施したことは、みつばち伊豆「みかん」との水遊び交流です。水鉄砲で相手を撃ったり、バケツで水を浴びせたり…終わる頃には子どもたちもスタッフも全身びしょ濡れです！初めて会った子たちとの交流でしたが、はじめましての子たちと仲良く一緒に遊べたという経験は、今後の生活に活きてくるのではないかと思います。

最後に、あるお子さんのひと夏の成長をひとつ。お手伝いとして掲示してある一日の予定表の書き換えをお願いしていた A さん。始めのうちはスタッフが頼めばやってくれるという状態でしたが（これでも十分すごいのですが）、夏休み終盤にはうっかり書き換えを忘れているスタッフに「予定表書いておきましょうか？」と自ら言ってくれるようになりました！ありがとう A さん、本当に助かったよ！

みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

コロナウィルス感染症が 5 類感染症になり、初めて迎える夏休みです。毎日、最高最高気温が 30℃を超えるのが当たり前の中、夏休みがスタートしました。外遊びが大好きなみかんのお友だちが、毎年楽しみにしているのが水遊びです。ビニールプール、水鉄砲等をつかって水の掛け合い、ホースから出る水を縄に見立てて行う縄跳びなど、子どもたちの歓声が毎日響いていました。スタッフとしては、水分補給の 15 分ごとの声掛けと、塩分補給のタブレットの用意などで、熱中症の予防対策にも気を配り、無事に夏休みを終えることが出来ました。

沼津のかりんとの交流も行いました。広い芝生の上で伸び伸びと行う水遊びをかりんの子どもたちにも体験させてあげたいと、これまでも思っていましたが、コロナウィルス感染予防の観点から実施を見合わせていました。かりんの子どもたちが楽しそうに水遊びをしてくれている姿をみて、スタッフもとてもうれしい気持ちになりました。

そして今年の夏休みは週 1 日「アイスの日」を設けました。子どもたちの好きなアイスのリクエストにこたえる形で、みんな思い思いのアイスを堪能しました。お友だちの食べているアイスに興味を持ち、次回にリクエストする子どもたちも多く、会話も弾みました。

更に、夏休みを終え、8 月 29 日、初めての静岡県障害指導班による実地指導が行われました。いくつか改善点の助言は頂きましたが、無事に終えることが出来たことをここに報告します。

活　動　報　告

伊豆圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「とっこ」

居場所「とっこ」は、伊豆市生きいきプラザの一室を借りて開いています。利用者さんが刺繍してくれた暖簾をくぐり、いつでもお入りください。

活動は自分のペースでやればよく、利用時間もそれぞれ。短時間利用でも大歓迎です。作りたい物や勉強道具を持参してくれる方もいますし、スタッフとトークして帰る方もいます。とっこで過ごそう、という気持ちになって来てくれる事がスタッフにはとてもうれしい事です。

こちらでも季節に合わせていくつかワークを用意しています。春からは、ペーパークラフトの飾りや段ボールを使った織り機、ビーズで小さな動物、折り紙のくす玉など、完成度の高い作品ができました。ゲームをやって盛り上がることもあります。カードゲームやジェンガなど、卓上で気軽にできるゲームをいろいろやっています。

また、しばらくできなかった料理も再開しました。記念すべき初回はたこ焼きパーティーでした。大きなたこ焼き器を囲んで皆で焼き、利用者さんが教えてくれたじゃがいも餅も作って食べて満足満腹でした。

利用者さん達がそれぞれのペースを保ち、自分の目標に向かって行けるよう、これからもスタッフ一同心を配ります。秋には野外活動も予定しています。車での送迎もやっていますので、どうぞ気軽にご利用ください。

相談支援事業所 び～さぽーと

相談支援事業所「び～さぽーと」の特徴は、スタッフが公認心理師・臨床心理士の資格を有していることです。利用計画の作成だけでなく、定期・不定期の面談で、ご本人や保護者の不安や心配ごとなどの相談を受けています。このようにして、各スタッフのキャリアや専門性を生かした相談支援を行っています。「サービス等利用計画」を作成する際にも、ご本人やご家族からの聞き取りと併せて心理検査や発達検査などの客観的データも読み取りながら、ご本人の強みを生かして目標設定を行います。ご本人が達成しやすい短期目標と、将来の目指す姿を描く長期目標を立てていきます。達成しやすい目標を立てることで、ご本人の達成感や自信にもつながり、モチベーションが長く続くように作成しています。

単にサービスへつなぐだけでなく、利用される方が自分らしく、地域で安心して生活を送っていただき、希望ある将来の姿を共に描いていけるようなサポートを目指しています。

東部圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「なごみ」

居場所『なごみ』は、引き続き 10 代から 40 代といった幅広い年代の方に利用していただいています。4 月より新しいスタッフも加わり、新たな雰囲気で、みなさんが自由に過ごせる空間をめざしています。

『なごみ』では、「食べたい」「作ってみたい」料理や、「行ってみたい」場所をみんなで出し合って、来月の予定を決める時間を設けています。そして、最近は、その予定表を “なごみだより” としてパソコンで作っていただく作業を、利用者の方にお手伝いしていただくようになりました。最初はみんな、なかなか意見がでなかったり、誰かの意見に受け身だった方たちが、少しずつ「これはどうか」と意見を言ってくれるようになり、居場所として、過ごしやすい雰囲気作りができてきたのではないかと嬉しく感じています。また、パソコンの入力作業、写真や画像の挿入の仕方を “なごみだより” を通してみんなで練習中です。完成した後は、達成感のある表情をみなさん見せてくれています。

＜ なごみ利用者さんの作品 ＞

また、8 月にららぽーとにおでかけをし、ゲームやジグソーパズルを新たに手に入れたので、これからみんなで楽しむ予定です。こういった活動以外でも、利用される方がゆっくりと安心して過ごせる居場所になるように、スタッフ一同お手伝いします。居場所『なごみ』にご興味ある方は、是非見学にいらしてください。

検査・カウンセリング料金の改定について

前号でお知らせいたしました通り、料金の改定をさせていただくことになりました。ご利用の皆様には大変申し訳ありませんが、事情をご賢察の上、ご了承いただけますようお願い申し上げます。今後とも皆様のお役に立てますよう、Be サポート一同、さらなる研鑽を重ね、努力してまいります。

【2023 年 10 月 1 日より】	現行	改定後
カウンセリング（50 分）	7,000 円→	8,000 円
カウンセリング（30 分）	4,000 円→	5,000 円
能力検査 WISC（～16 歳）	5,000 円→	6,000 円